パトランプ警報ユニット
外部I/O端子 接続例

第1.0版

2024年10月
i-PRO株式会社

i-PRO
The Power of Truth

© i-PRO | All Rights Reserved.

目次

本ドキュメントでは、弊社i-PRO製カメラおよびレコーダーの外部I/O端子とパトランプ警報ユニットの端子接続例を示します。

1.1 PATLITE NHVシリーズとカメラの接続例

1.2 PATLITE LA6シリーズとカメラの接続

1.3 竹中エンジニアリング LRVシリーズとカメラの接続

1.4 竹中エンジニアリング LFVシリーズとカメラの接続

2.1 PATLITE NHVシリーズとレコーダーの接続例

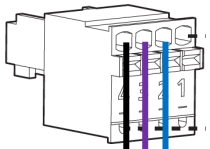
2.2 PATLITE LA6シリーズとレコーダーの接続

2.3 竹中エンジニアリング LRVシリーズとレコーダーの接続

2.4 竹中エンジニアリング LFVシリーズとレコーダーの接続

© i-PRO | All Rights Reserved.

1.1 PATLITE NHVシリーズとカメラの接続例



※左記の端子出力の配線例は
WWV-S2136リーズの例です
他の機種の場合には取扱説明書でそれぞれの端子配列をご確認ください

2: アラーム入力2/アラーム出力

3: アラーム入力3/AUX出力

4: GND

※A

DC5V

リード線
挿入口

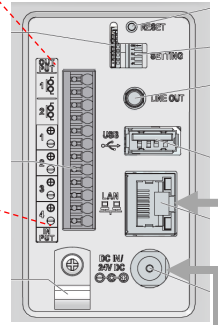
操作部

出力
端子台

入力
端子台

OUT PUT

IN PUT



【ご注意】
機器の設置、配線は,メーカーの工事説明書/設置説明書に従って行ってください。
特に、商用電源の接続、高所/壁面への設置に関しては、メーカーの説明書に従い、安全を確保するようにしてください

ネットワークケーブル
※Pモデルの場合は
（PoE給電可能）

↑↓電源供給はいずれか

付属ACアダプター
により電源供給

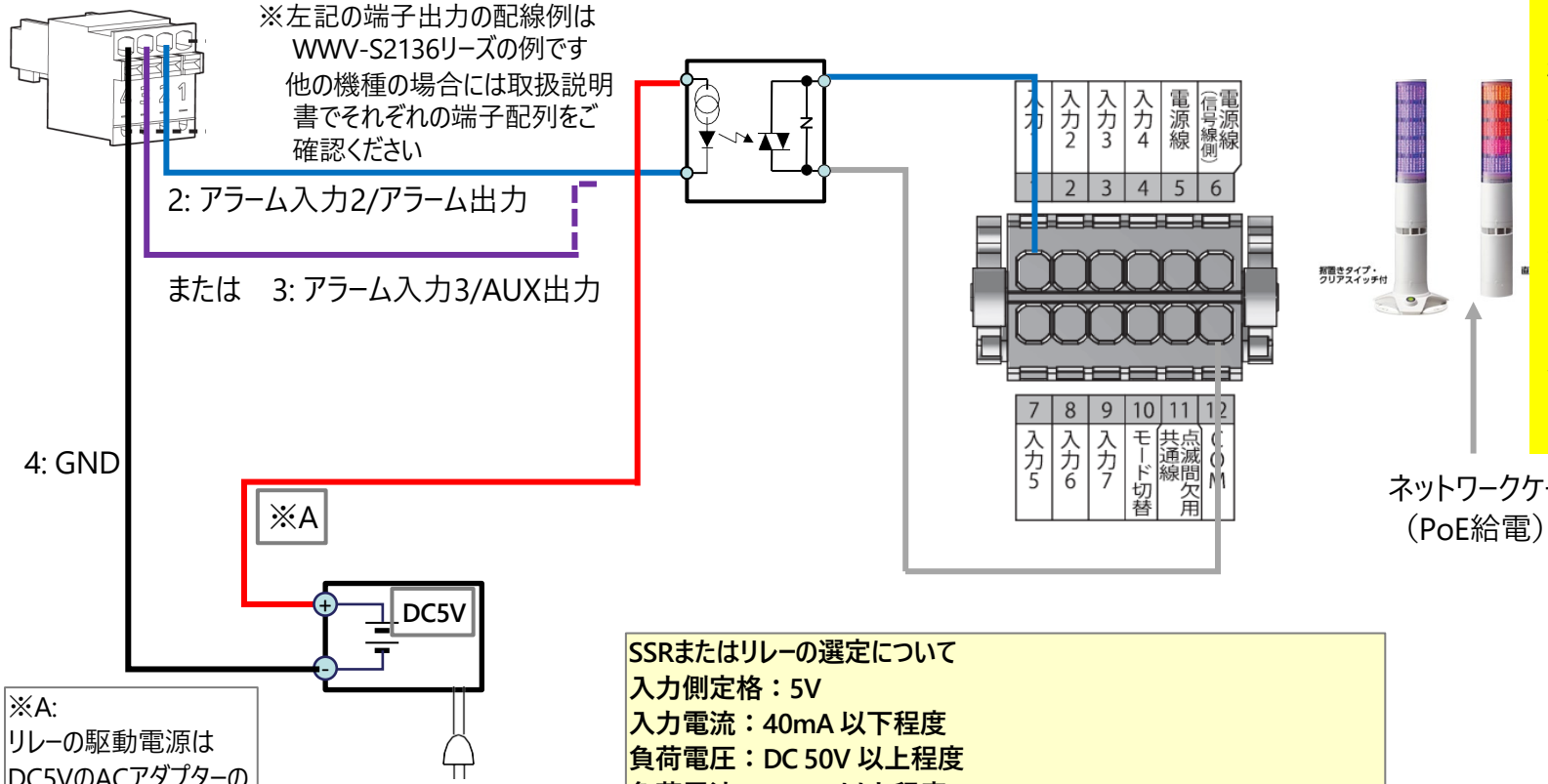
※A:
リレーの駆動電源は
DC5VのACアダプターの
＋端子に接続します
ACアダプターの－端子
はカメラの「4: GND」端
子に接続します

**リレー駆動の電源用として
外部電源（ACアダプター等）
を使用してください**

**SSRまたはリレーの選定について
入力側定格：5V
入力電流：40mA 以下程度
負荷電圧：DC 50V 以上程度
負荷電流：DC 1A 以上程度
のものを選定します
・パトランプ警報ユニットの接点入力の仕様に従って選定してください
・リレーメーカーのURL等を参照いただき、詳細を理解の上ご使用ください**

© i-PRO | All Rights Reserved.

1.2 PATLITE LA6シリーズとカメラの接続例



【ご注意】
機器の設置、配線は、メーカーの工事説明書/設置説明書に従って行ってください。
特に、商用電源の接続、高所/壁面への設置に関しては、メーカーの説明書に従い、安全を確保するようにしてください

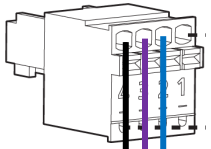
※A:
リレーの駆動電源はDC5VのACアダプターの＋端子に接続します
ACアダプターの－端子はカメラの「4: GND」端子に接続します

リレー駆動の電源用として外部電源（ACアダプター等）を使用してください

SSRまたはリレーの選定について
入力側定格：5V
入力電流：40mA 以下程度
負荷電圧：DC 50V 以上程度
負荷電流：DC 1A 以上程度
のものを選定します
・パトランプ警報ユニットの接点入力の仕様に従って選定してください
・リレーメーカーのURL等を参照いただき、詳細を理解の上ご使用ください

© i-PRO | All Rights Reserved.

1.3 竹中エンジニアリング LRVシリーズとカメラの接続例



※左記の端子出力の配線例は
WWV-S2136リーズの例です
他の機種の場合には取扱説明書でそれぞれの端子配列をご確認ください

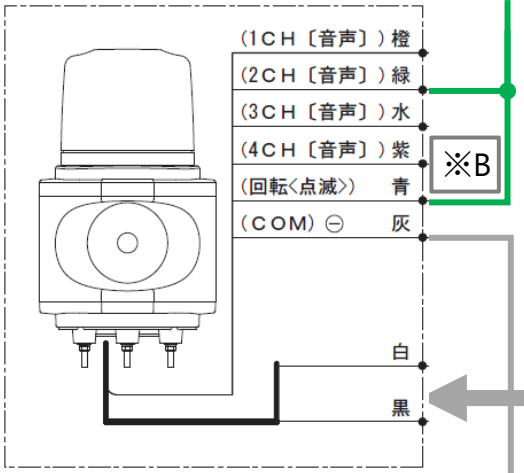
2: アラーム入力2/アラーム出力

または　3: アラーム入力3/AUX出力

4: GND

※A

DC5V



※B

商用電源
（100V）

【ご注意】
機器の設置、配線は,メーカーの工事説明書/設置説明書に従って行ってください。
特に、商用電源の接続、高所/壁面への設置に関しては、メーカーの説明書に従い、安全を確保するようにしてください

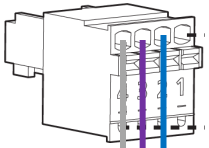
SSRまたはリレーの選定について
入力側定格：5V
入力電流：40mA 以下程度
負荷電圧：DC 50V 以上程度
負荷電流：DC 1A 以上程度
のものを選定します
・パトランプ警報ユニットの接点入力の仕様に従って選定してください
・リレーメーカーのURL等を参照いただき、詳細を理解の上ご使用ください

※A:
リレーの駆動電源はDC5VのACアダプターの＋端子に接続します
ACアダプターの－端子はカメラの「4: GND」端子に接続します

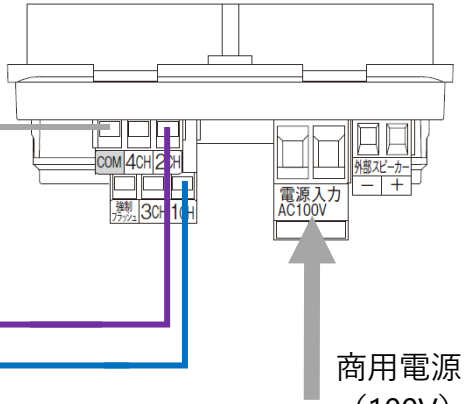
※B:
リレーの出力端子ひとつでLRVの複数の端子を制御可能です
（リレーの最大負荷の範囲内で接続）

© i-PRO | All Rights Reserved.

1.4 竹中エンジニアリング LFVシリーズとカメラの接続例



※左記の端子出力の配線例は
WWV-S2136リーズの例です
他の機種の場合には取扱説明
書でそれぞれの端子配列をご
確認ください



4: GND

3: アラーム入力3/AUX出力

2: アラーム入力2/アラーム出力

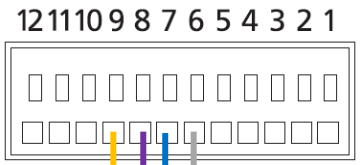
商用電源
（100V）

【ご注意】
機器の設置、配線は,メーカーの工事説明書/設置説明書に従って行ってください。
特に、商用電源の接続、高所/壁面への設置に関しては、メーカーの説明書に従い、安全を確保するようにしてください

© i-PRO | All Rights Reserved.

2.1 PATLITE NHVシリーズとレコーダーの接続例

※左記の端子出力の配線例は
WJ-NUシリーズの例です
他の機種の場合には取扱説明
書でそれぞれの端子配列をご
確認ください

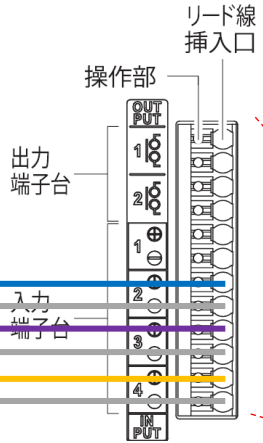


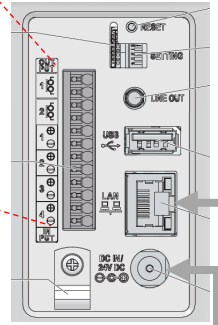
6: GND

7: アラーム出力

8: カメラ異常出力

9: HDD異常/録画異常出力





【ご注意】
機器の設置、配線は,
メーカーの工事説明書/
設置説明書に従って
行ってください。
特に、商用電源の接
続、高所/壁面への設
置に関しては、メーカー
の説明書に従い、安
全を確保するようにして
ください

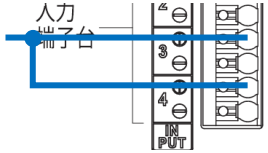
・NHVの入力端子の「－」には
レコーダーの「GND」端子を接続します
・NHVの入力端子の「＋」には
レコーダーの出力端子を接続します

ネットワークケーブル
※Pモデルの場合は
（PoE給電可能）

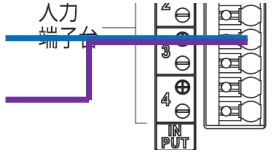
↑↓電源供給はいずれか

付属ACアダプター
により電源供給

・レコーダーの出力端子ひとつで
NHVの複数の端子を制御可能です

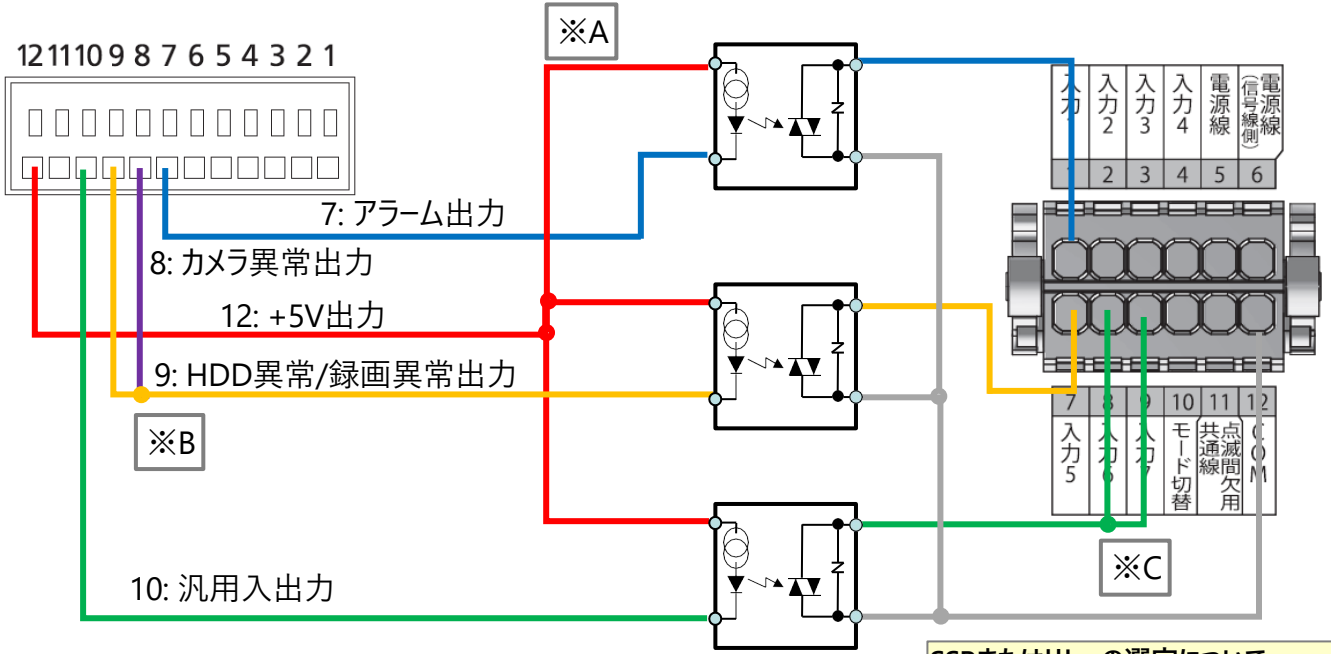


・レコーダーの複数の出力端子で
NHVのひとつの端子を制御可能です
どちらかいずれの出力がされたときに
動作（ワイヤードOR）になります



© i-PRO | All Rights Reserved.

2.2 PATLITE LA6シリーズとレコーダーの接続例



ネットワークケーブル
（PoE給電）

【ご注意】
機器の設置、配線は、メーカーの工事説明書/設置説明書に従って行ってください。
特に、商用電源の接続、高所/壁面への設置に関しては、メーカーの説明書に従い、安全を確保するようにしてください

この接続図はLA6シリーズにPoE給電した場合の接続です
DC24V給電した場合の接続についてはメーカーの説明書等をご参照ください

※A:
リレーの駆動電源はレコーダー端子（+5V、200mA）を使用します

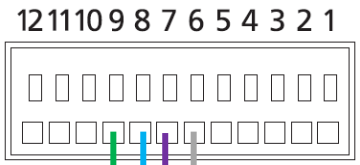
※B:
レコーダーの複数の出力端子でひとつのリレーを制御可能です
どちらかいずれの出力がされたときに動作（ワイヤードOR）になります

※C:
リレーの出力端子ひとつで、複数のLA6端子が制御可能です
（リレーの最大負荷の範囲内で接続）

SSRまたはリレーの選定について
入力側定格：5V
入力電流：40mA 以下程度
負荷電圧：DC 50V 以上程度
負荷電流：DC 1A 以上程度
のものを選定します
・パトランプ警報ユニットの接点入力の仕様に従って選定してください
・リレーメーカーのURL等を参照いただき、詳細を理解の上ご使用ください

ts Reserved.

2.3 竹中エンジニアリング LRVシリーズとレコーダーの接続例



※左記の端子出力の配線例は
WJ-NUシリーズの例です
他の機種の場合には取扱説明書でそれぞれの端子配列をご確認ください

※C:
LRVシリーズの接点端子入力の仕様は
DC30V 40mA
ですが、弊社レコーダーとの接続確認で問題ないことを確認しています

【ご注意】
機器の設置、配線は,メーカーの工事説明書/設置説明書に従って行ってください。
特に、商用電源の接続、高所/壁面への設置に関しては、メーカーの説明書に従い、安全を確保するようにしてください

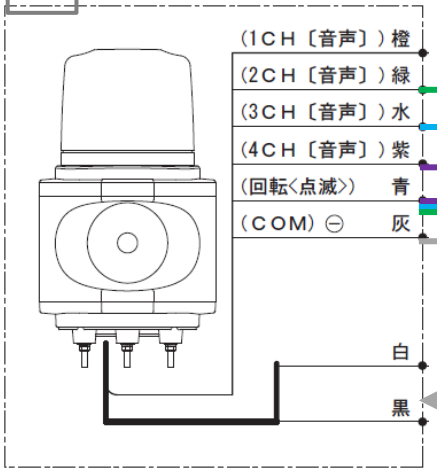
7: アラーム出力

8: カメラ異常出力

9: HDD異常/録画異常出力

6: GND
・LRVの入力端子の「COM －」には
レコーダーの「GND」端子を接続します

※C



※A

※B

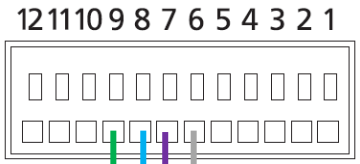
商用電源
（100V）

※A:
レコーダーの出力端子ひとつでLRVの複数の端子を制御可能です

※B:
レコーダーの複数の出力端子でLRVのひとつの端子を制御可能です
どちらかいずれの出力がされたときに動作（ワイヤードOR）になります

© i-PRO | All Rights Reserved.

2.4 竹中エンジニアリング LFVシリーズとレコーダーの接続例

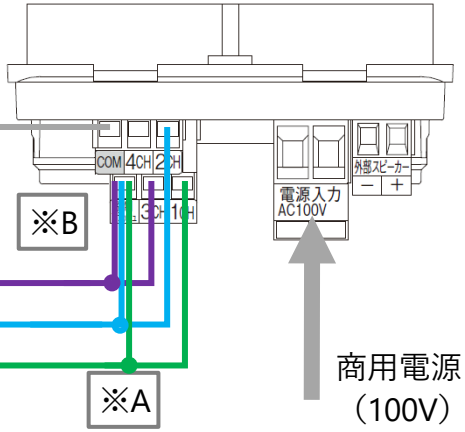


※左記の端子出力の配線例は
WJ-NUシリーズの例です
他の機種の場合には取扱説明書でそれぞれの端子配列をご確認ください

【ご注意】
機器の設置、配線は,メーカーの工事説明書/設置説明書に従って行ってください。
特に、商用電源の接続、高所/壁面への設置に関しては、メーカーの説明書に従い、安全を確保するようにしてください

6: GND

・LFVの入力端子の「COM －」には
レコーダーの「GND」端子を接続します



7: アラーム出力

8: カメラ異常出力

9: HDD異常/録画異常出力

商用電源
（100V）

※A:
レコーダーの出力端子ひとつでLFVの複数の端子を制御可能です

※B:
レコーダーの複数の出力端子でLFVのひとつの端子を制御可能です
どちらかいずれの出力がされたときに動作（ワイヤードOR）になります

© i-PRO | All Rights Reserved.

改訂履歴

版	日付	変更内容
1.0版	2024.10	・初版　発行

© i-PRO | All Rights Reserved.

i-PRO

The Power of Truth